

事務事業名 子ども会リーダースクール事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：668

施策：	19	青少年の健全育成	財務コード	01090603-19-00
基本事業：	03	青少年指導者の確保、育成	担当部	教育部
基本事業の成果指標	ボランティアの活用件数（派遣件数のうち少年に関わるものの件数） ボランティア活動者数（延べ活動者数のうち青少年に関わるものの人数） 子どもたちが主体的に企画・運営した事業を実施した子ども会の割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習推進・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市内の小・中学生および高校生		子ども会のリーダーを対象に、行事の計画や、軽スポーツ・レクリエーション等を体験学習することにより積極的に子ども会を担っていくリーダーの育成を目的とする。 （あそび広場） ・「あそび広場」運営 （ジュニアリーダー育成） ・子ども会活動を支援する中高生のリーダーを育成 （新子ども会リーダースクール） ・「子ども会とは」「リーダーとは」の研修 （子ども会サミットin竜岩/市子連主催） ・各単位子ども会のリーダーの交流の場、自然体験やK Y Tなどの学習の実体験をする場				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
子ども会の主体者としての自覚を促し、積極的に子ども会を担っていくリーダーの育成を図り、子ども会が円滑に運営される。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
子ども会加入者数	人	3,272	3,534	3,300	3,300			3,500
スクール参加者数	人	205	184	250	250			

5. コスト								
事業費	計	千円	88	84	178	97		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	88	84	178	97			
正職員人工数	人工	0.2	0.2	0.1				
正職員人件費	千円	1,599	1,618	807				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	1,687	1,702	985	97			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている	子ども会加入者数は一定水準を確保しているが、スクール参加者数は伸び悩む。習い事等で忙しい子どもも多く、行事参加が少なくなりがちであるが、リーダースクール事業の目的である「子どもが主体となる子ども会活動」を推し進めるため、市子連加入・未加入に関わらない、参加案内を検討していく。							
どちらかといえばあがっている	本事業を通して、「本来の子ども会とは、どういうものなのか」ということの周知も図っていききたい。							
あがっていない（停滞・低下）								

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	なし	現在、市子連を「休会」または「退会」中の子ども会に向けた働きかけをどのようにしていくか、市子連とともに検討しているところです。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	あり					
成果向上余地	中程度							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	--	--	--	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望） 積極的に子ども会を担っていくリーダーの育成を目的として開始。市子連に加入する子ども会数が減少してきているが、その中でもリーダースクール事業への参加希望者は増加している。								
備考・特記事項 or 進行管理欄 地域によって「子ども会活動」への意識の違いが出てきている。								